

汚水処理人口普及状況について(2025 年度)



環境省、国土交通省、農林水産省は、2025 年度末時点における全国の汚水処理人口普及状況について合同で調査を行い、その結果を取りまとめました。

全国の汚水処理施設の処理人口は、1 億 1,602 万人となり、この数字を総人口に対する割合でみた汚水処理人口普及率は、94.0%（2024 年度末については、93.7%）となりましたが、未だに約 740 万人が汚水処理施設を利用できない状況です。

この普及状況は、大都市と中小市町村で大きな差があり、特に人口 5 万人未満の市町村の汚水処理人口普及率は 85.1%（2024 年度末については、84.5%）と、全国平均からいまだ大きく後れている状況です。

関東地方では、東京都(99.9%)が最も普及率が高く、次いで神奈川県(98.6%)、埼玉県(94.3%)、千葉県(92.2%)、栃木県(91.1%)、茨城県(90.2%)、群馬県(86.4%) という結果でした。処理人口を各処理施設別にみると、下水道によるものが 1 億 141 万人（総人口に対する普及率 82.2%）、農業集落排水施設等によるものが 276 万人（同 2.2%）、浄化槽によるものが 1,171 万人（同 9.5%）、コミュニティ・プラントによるものが 14 万人（同 0.1%）でした。

当社では排水分析について実績と豊富な経験があります。詳しくは、当社排水分析担当者（フリーダイヤル 0120-01-2590）までお気軽にお問い合わせください。

資料 [2026 年 8 月 24 日付 環境省報道発表資料](#)

